

令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査
春日部市全体の調査結果概要（目的・概要等）

1 調査の目的

- ・児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 調査の概要

実施日 令和4年5月11日（水）

調査対象 原則として小学校第4学年から中学校第3学年までの全児童生徒を対象とする。

調査事項 1 児童生徒に対する調査

(1) 教科に関する調査

- ①小学校第4学年～小学校第6学年…2教科（国語、算数）
- ②中学校第1学年 …2教科（国語、数学）
- ③中学校第2、3学年 …3教科（国語、数学、英語）
- ④義務教育学校第4学年から第9学年…小・中学校の該当学年に準ずる

(2) 質問紙調査

学習意欲や学習方法及び生活習慣等に関する事項

2 学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する事項

特徴 「学習した内容がしっかりと身に付いているのか」という視点に「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか（学力の経年変化）」という視点を加えている。

3 教科に関する調査結果

- ・埼玉県学力・学習状況調査は、問題が非公開のため、実際に出題された問題の分析ではなく、公開されている「問題の概要」や「出題の趣旨」から出題された問題を想定して分析しています。
- ・本調査結果概要では、埼玉県学力・学習状況調査の特徴である「一人一人の伸び」についてではなく、春日部市全体の傾向としての分析としたため、春日部市の平均正答率を基に分析をしています。

・結果の概要（小学校）

【小学校4年生】

小学校4年生 国語		平均正答率（％）
		春日部市
全体		61.7
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方	69.9
	情報の扱い方、我が国の言語文化	56.5
	話すこと・聞くこと・書くこと	40.1
	読むこと	64.0

「言葉の特徴や使い方」については、概ね高い正答率でした。特に正答率が高かった問題として、文脈に即して漢字を正しく書く問題や同じ意味の言葉を選ぶ問題です。日常生活において相手に合わせて敬語を使ったり、意味の分からない言葉は辞書を引いたりして、語彙を豊かにしていきましょう。

！平均正答率が最も低かった問題は、選んだ内容とそれについて調べる方法を2段階構成で自分の考えを書く問題です。
日常から目的に沿って適切な方法で文章を書くことが大切です。

小学校4年生 算数		平均正答率（％）
		春日部市
全体		62.5
学習指導要領の領域等	数と計算	63.8
	図形	49.4
	測定	62.1
	データの活用	75.4

「データの活用」については、概ね高い正答率でした。特に正答率が高かった問題としては、棒グラフの1目盛りを読み取る問題や棒グラフから特定の数値を読み取る問題です。今後も、棒グラフの特徴について理解し、正しく読み取ることができるようにしましょう。

！平均正答率が最も低かった問題は、大きい長方形の中に小さい正方形がいくつあるかを求める問題です。文章問題の中で聞かれていることは何かをしっかりと捉え、既習事項のかけ算、わり算を用いて考えることが大切です。

小学校5年生 国語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		55.8
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方	63.7
	情報の扱い方、我が国の言語文化	57.3
	話すこと・聞くこと・書くこと	49.9
	読むこと	44.2

「言葉の特徴や使い方」については、概ね高い正答率でした。特に正答率が高かった問題としては、文脈に即して漢字を正しく書く問題やローマ字表記を正しく読む問題です。文章を読む学習では、文の構成を理解したり、文と文のつながりを意識し、読み進めたりすることが大切です。

！平均正答率が最も低かった問題は、使いたい道具を選び、選んだ理由をあげながら自分の考えを書く問題です。
文を読み返し、文を整え目的に応じて正しく文章を書くことが大切です。

小学校5年生 算数		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		62.6
学習指導要領の領域等	数と計算	61.6
	図形	55.2
	測定	74.6
	データの活用	64.5

「変化と関係」については、概ね高い正答率でした。特に正答率が高かった問題としては、2つの数量の関係を表した式のうち適切なものを選ぶ問題や時間を秒で表す問題です。また、仮分数の計算や整数を10倍した数をさらに10倍する計算についても高い正答率でした。今後も、色々な計算問題を積極的に解いてみましょう。

！平均正答率が最も低かった問題は、方眼上の点を直線で結んだとき、二等辺三角形となる点を選ぶ問題です。
図形の性質を正しく理解し、作図できるようにすることが大切です。

小学校6年生 国語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		64.0
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方	67.3
	情報の扱い方、我が国の言語文化	64.7
	話すこと・聞くこと・書くこと	65.7
	読むこと	56.6

「言葉の特徴や使い方」については、概ね高い正答率でした。特に文中にあてはまる適切な言葉を選択する問題は、95%以上の高い正答率でほとんどの児童が正答を導き出しました。文章の内容を正しく理解するために文中にある副詞の意味や、接続詞の働きを理解することが大切です。

！平均正答率が最も低かった問題は、文の主語を書き抜く問題です。主語と述語の関係を理解し、文の構成を正しく理解することが大切です。

小学校6年生 算数		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		59.9
学習指導要領の領域等	数と計算	64.3
	図形	56.6
	変化と関係	65.5
	データの活用	50.4

「数と計算」「変化と関係」については、概ね高い正答率でした。特に正答率が高かった問題としては、仮分数のひき算の問題や2つの数量の関係を表した式のうち適切なものを選ぶ問題です。分数や小数の計算方法や2つの数量の関係についてよく理解しています。今後も四則計算のきまりや□や△などの記号を用いる式について正しく理解し、計算していきましょう。

！平均正答率が最も低かった問題は、ある立方体の体積が他の体積の立方体のいくつ分であるかを選ぶ問題です。立方体の体積の公式を用いて色々な立体図形の体積を求めることができる等、体積の単位の仕組みについて理解することが大切です。

中学校 1 年生 国語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		57.3
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方	60.4
	情報の扱い方、我が国の言語文化	57.8
	話すこと・聞くこと・書くこと	52.1
	読むこと	55.4

「言葉の特徴や使い方」については、高い正答率のものがいくつかありました。例えば、同じ漢字を選択する問題では、94%以上の正答率でした。また、文中にあてはまる適切な副詞を選ぶ問題では、98%以上という非常に高い正答率でした。今後も言葉についての理解を深め、文章を読むことに生かしていきましょう。

！平均正答率が最も低かった問題は、熟語の構成を理解する問題です。熟語の日常生活の中で、意味の分からない言葉に出会ったら、辞書を引くなどして、語彙を豊かにしていきましょう。

中学校 1 年生 算数		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		56.7
学習指導要領の領域等	数と計算	59.6
	図形	55.3
	変化と関係	55.0
	データの活用	54.6

「数と計算」の小数を分数に変換する問題では、およそ86%の高い正答率でした。また、「図形」の縮図である図形を選ぶ問題と必要なおよその面積の見立て方で適切なものを選ぶ問題でも高い正答率でした。2つの図形の比較や小数と分数の関係について理解しています。

！平均正答率が最も低かった問題は、分数の計算を用いて文章題を解く問題です。具体的な事柄について、分数の計算を用いて考えることが大切です。

中学校 2 年生 国語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		56.7
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方	55.7
	情報の扱い方、我が国の言語文化	58.3
	話すこと・聞くこと・書くこと	54.0
	読むこと	58.7

「読むこと」については、高い正答率のものがいくつかありました。例えば、物語の内容を理解し登場人物の心情を理解する問題では、正答率が90%でした。また、物語の要旨を理解し、登場人物の心情の変化を読み取る問題では、正答率が89%でした。登場人物の心情について描写をもとに捉えることができるよう今後も学習を積み重ねていきましょう。

！平均正答率が最も低かった問題は、熟語の構成を理解する問題です。熟語の日常生活の中で、意味の分からない言葉に出会ったら、辞書を引くなどして、語彙を豊かにしていきましょう。

中学校 2 年生 算数		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		50.0
学習指導要領の領域等	数と式	50.9
	図形	45.5
	関数	50.8
	データの活用	53.6

「数と計算」と「図形」については、高い正答率のものがありました。「数と計算」では、正の数・負の数の入った四則混合計算の問題の正答率が高く、正の数、負の数の計算する力が身についています。「図形」では、対称移動した図形の問題の正答率が高く、図形を対称移動する方法を理解しています。

！平均正答率が最も低かった問題は、ある数量について、分数の除法を用いて文章問題を解く問題です。分数の除法についても整数の除法と同じ関係や法則が成り立っていることを理解することが大切です。

中学校 2 年生 英語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		54.3
学習指導要領の領域等	聞くこと	63.9
	読むこと	55.8
	書くこと	36.8

「聞くこと」については、高い正答率のものがありませんでした。例えば、日付を聞き、正しい絵を選ぶ問題や位置の情報を聞き、正しい絵を選ぶ問題では、ともに 88% の正答率でした。短い会話文の内容について理解することができています。

！平均正答率が最も低かった問題は、メモに基づいて、人物について説明する英文を書く問題です。問題の困難度レベルも高く、無回答率も高い問題でした。与えられた情報に基づいて、人物の情報を正確に書くことが大切です。

中学校 3 年生 国語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		55.4
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方	64.2
	情報の扱い方、我が国の言語文化	59.6
	話すこと・聞くこと・書くこと	48.3
	読むこと	40.4

「言葉の特徴や使い方」と「情報の扱い方、我が国の言語文化」については、高い正答率のものがありませんでした。「言葉の特徴や使い方」については、文脈に即して正しい漢字を書く問題の正答率は、85%を超えていました。また、「情報の扱い方、我が国の言語文化」では、漢文の要旨を選択する問題の正答率は、83%でした。基本的な語彙や文法・語法について知識を身に付けています。

！平均正答率が最も低かった問題は、登場人物の心情の内容を説明している文を選択する問題です。物語の中で登場人物の心情を描写から捉えることが大切です。

中学校3年生 算数		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		55.6
学習指導要領の領域等	数と式	66.4
	図形	50.6
	関数	41.3
	データの活用	55.0

「データの活用」と「図形」については、正答率が高いものがありました。「データの活用」では、さいころを投げたときの確率を求める問題で正答率が80%を超えていました。「図形」では、平行線の性質と三角形を利用して、辺の長さを求める問題で、正答率が80%を超えていました。

！平均正答率が最も低かった問題は、2点を通る直線の式をそれぞれ求め、2つの直線の交点を求める問題です。グラフから2直線の式を求め、2直線の交点を求めることができる必要があります。

中学校3年生 英語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		52.7
学習指導要領の領域等	聞くこと	51.9
	読むこと	59.9
	書くこと	35.4

「読むこと」について、高い正答率のものがありました。英文の文章を読んで、理由についてたずねる質問への答えを選ぶ問題の正答率は、86%でした。英語の文章を読んで内容と合う日本語を選ぶ問題は高い正答率でした。英語で書かれた文を読んで、重要な部分を読み取る力が身についています。

！平均正答率が最も低かった問題は、メモに基づいて、予定について説明する英文を書く問題です。与えられた情報に基づいて、メッセージを正確に書くことができることが大切です。